

インテグリティ・マンツーマン推進責任者 運営マニュアル

【責任者の役割】

インテグリティとマンツーマンの推進役としてリーグでの取り組みをサポートしていただきます。

①開催日の集合時に指導者ミーティングを行い、インテグリティとマンツーマン推進について順守することを確認する。

・以下の2点を開催日毎に確認する。

インテグリティについて、暴力・暴言を根絶し U12 カテゴリーのコーチとしてふさわしい言動をとること。

マンツーマンの推進についてマンツーマンの基準規則を守り、マンツーマンの推進を行うこと。

・各チームで集合時間が違う場合は、ゲーム前に個別に確認してください。

②当日の全日程終了後に指導者ミーティングを行い、インテグリティとマンツーマンの推進について「振り返り」を行う。(チェックシートを使用する)(責任者が司会者となり振り返りのファシリテーターをお願いします)

・インテグリティ・マンツーマン推進について、自チームの取り組みを各指導者が自己評価し、チェックシートに記載する。

(記載必須) (原則本人が記載するが、責任者が記載してもかまいません)

・インテグリティ・マンツーマン推進について、指導者間で意見交換(ヒアリング)し、必要に応じてチェックシートに記載する。

・インテグリティ・マンツーマン推進について、指導者間で意見交換(ヒアリング)し、問題となる行為(注1)があった場合はチェックシートの「特記事項」に記載する。

・全日程終了前に帰宅する指導者は、自チームの「振り返り」を責任者に伝えてから帰宅するようにしてください。

③チェックシートの中の「特記事項」に問題となる行為の記載がある場合は技術委員会に報告する。

・「特記事項」に記載がある場合は、必ず技術委員会にチェックシートを提出してください。

・下記にメールにて添付で送信してください。(遅滞なく送付をお願いします)

・画像(写メ)、PDF、エクセル等、どのような形式でもかまいません

注1：問題となる行為(特記事項に記載する内容)

・インテグリティに反する暴力・暴言があった場合に記載してください、テクニカルファウルが宣されない場合においても問題となる行為については記載してください。

(当日の審判を担当する方も連携し、テクニカルファウルを宣した場合は、必ず記載するようにお願いします)

・マンツーマン推進で単に違反の事象について報告する必要は無く、コーチが基準規則を理解していない場合や、基準規則を守ろうとしていない場合等に記載してください。

※問題となる行為については必要に応じて技術委員会でヒアリングをして指導等を行います。

その他

- ・責任者のチームが当日に試合がない日もありますが、その場合はリーダーチームや会場責任者等へ依頼し、可能な範囲で同様の対応ができるようお願いいたします。
- ・マンツーマンに関して本リーグ戦でのマンツーマンコミッショナー（MC）の設置は必須ではありません。それぞれの指導者が意識を高めマンツーマンの推進を行うことが目的です。なお、リーグ内に技術委員やMC経験者等がいる場合は、リーグ内で話し合いのうえで当日の特定のゲームにMCを設置し、任意に研修等を行っていただいてもかまいません。
- ・チェックシートは責任者が保管（保存期間：年度内）してください。年度終了後に、適切に廃棄をお願いします。

問い合わせ先（チェックシート提出先）

本件について、判断に迷う事象や指導者間で意見の相違もあるかと思えます。何か問題等が発生した場合は下記にご連絡ください。インテグリティやマンツーマンに関する質問もお受けします。

技術委員長 佐藤 申 TEL : 090-8439-5038 メール : machidabasketballclub@gmail.com

以上

東京都バスケットボール協会
U12 カテゴリー 技術委員会